



# SSH通信



広島大学附属高等学校  
Ⅱ年3組AS委員

2019年度 第1号

2019年5月8日発行

## 「高大接続」がさらに充実！

昨年度からSSH(Super Science Highschool)4期目がスタートしました。そのキーワードは「SAGAs(探す)」です。

Scientific (科学的)

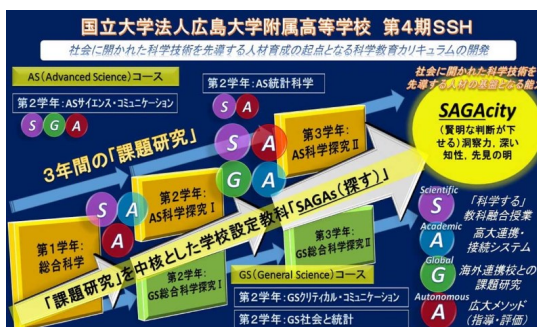
Academic (高度かつ専門的)

Global (国際的)

Autonomous (主体的・自律的)

これらの「SAGAs」を積み上げ、「SAGAcity(洞察力、深い知性、先見の明)」を習得することが目標です。

私たちは1年生の3学期に、2年生からのコース選択を行いました。



それは普通科5クラスのうち、AS (Advanced Science)コース1クラス、GS (General Science)コース4クラスに分かれるものです。今年度は広島大学との高大連携がさらに強化されます。本号は、4月にスタートした今年度SSH事業の内容の一部を紹介します。



高大接続プログラムに参加して  
4月24日(水)

「世界に羽ばたく。教養の力」

池谷先生の講演の内容は一貫して「熱意」だとか「好奇心」についてでした。その中で私に最も印象づいたのは、将来を選ぶことについての話でした。第四次産業革命が起きている今の時代において今ある職業を将来の夢に掲げるのはナンセンス、変化する時代に適応する順応力が必要で、そのためにいろいろな新しい物事に好奇心を向けることが大切である。この先生の言葉は間違いなく私の将来の指針となると思います。

4月23日(火)

「ヘルスサイエンスのための基盤数学」

この授業は、持参したPCでMathematicaというアプリケーションを用いる先進的な授業です。見たことのない数列に不安になりましたが、先生の説明が身近なことにも関連させており、理解が深まりました。これからさらに授業が本格化して難しくなるとは思いますが、学ぶ意欲を大切に、学校では学べない数学を習得したいです。



## 広島大学と共同の高大接続プログラム

今年度から始まった広島大学との共同による高大接続プログラムは次の通りです。2年生の生徒全員を対象としたものと希望生徒を対象としたものがあります。

### 1. 2年生の生徒全員を対象としたプログラム

5月7日(火)

教養教育「世界に羽ばたく。教養の力」(茂木健一郎氏・脳科学者)

### 2. 2年生の希望生徒を対象としたプログラム

4月24日(水)

教養教育「世界に羽ばたく。教養の力」(池谷裕二氏・東京大学薬学部教授)

1ターム(4~6月)

教養教育「ヘルスサイエンスのための基盤数学」

前期(4~8月)

教養教育「食文化論」

前期(4~8月)

医学部・保健学科「病理学」

前期(4~8月)

医学部・保健学科「身体運動学」

後期(10~2月)

医学部・保健学科「リハビリテーション概論」

講義を受けた感想を紹介します。



広島大学附属高等学校

〒734-0005

広島市南区翠一丁目1番1号

TEL: (082) 251-0192

FAX: (082) 252-0725

**高大接続プログラムに参加して(続き)**

4月23日(火)

「食文化論」

私は食文化論という講座を受講しました。その中で問題視されていたのは自分達が何を食べているかが見えなくなっているということです。例えば、おさかなソーセージやカップラーメンなどは味が大豆たんぱくによって作られており、また加工食品だけでなく畜産物の飼育法も早く太らせ出荷するためだけのものになっているそうです。この講義を聞いて私は、より良い技術の使い方を考える必要があると思いました。

4月24日(水)

「身体運動学」

私が参加した最初の授業のテーマは「人体関節の基本構造と機能」で、関節の構造や種類、それに骨格節や神経系に関することを学びました。スライドを使った授業で、図をたくさん用いており、実際に自分の関節を確認するなどしたので、とても分かりやすかったです。やはり大学の授業なので、内容が深く、具体的に非常に興味深かったです。

# 学校設定教科「SAGAs(探す)」

新・学校設定教科「SAGAs(探す)」			第2学年より、普通科5クラスのうち、1クラスをASコース、4クラスをGSコースとする
	AS(Advanced Science)コース	GS(General Science)コース	SSHの4つの柱
3年	AS科学探究Ⅱ(1単位)	GS総合科学探究Ⅱ(1単位)	Scientific Autonomously Global Academically
2年	AS科学探究Ⅰ(2単位)	GS総合科学探究Ⅰ(2単位)	Scientific Autonomously Global Academically
	AS統計科学(1単位)	GS社会と統計(1単位)	Scientific Autonomously Global Academically
1年	ASサイエンス・コミュニケーション(1単位)	GSクリティカル・コミュニケーション(1単位)	Scientific Autonomously Global Academically
	総合科学(2単位)		Scientific Autonomously Global Academically

SAGAsのカリキュラムの一環として2年のASコースでは「統計科学」と「サイエンスコミュニケーション(以下SC)」、GSコースでは「社会と統計」と「クリティカルコミュニケーション」の授業が始まりました。統計科学では現在、数学科の先生より確率分布について学んでいます。テストの標準偏差やくじ引きなど日常的な確率は実際にはどのような意味を持つのかということ数学Bの確率分布の分野と共に学ぶ事ができ、先生の面白い話も含めて興味深い時間です。SCでは英語科の先生とALTの先生から英語onlyの授業でspeakingの技法や文章の論理展開などプレゼンテーションの基礎知識を学んでいます。英語科の先生による高校範囲の文法を駆使した英語による授業はlistening力を意識させられ、stretching/pausingなど知らないとできないスピーチの知識を知る事ができ、とても楽しいです。新展開の授業で様々な刺激を受け、これからのモチベーションにし、さらに知識を吸収できるように頑張りたいです。

## 課題研究

### 1. オリエンテーション

課題研究が始まるまでに数々のオリエンテーションが行われました。学年主任の先生からは、「時間に追われるのではなく、時間を追いかけて」と激励の言葉をいただきました。各教科の先生方の話から、課題研究のテーマは身近なところにこそヒントが隠れていることや世の中にどう役立てられるかを考えることが大切だと分かりました。また研究部長の先生の話から、今年度は「高大接続プログラム」が実施されることを知り、多くの著名な先生方の講義を聞けることに驚きました。オリエンテーションや高大接続で学んだことを課題研究に活かし、有意義なものにしたいです。



指導助言をいただく



シミュレーションを行う

### 2. 活動の様子

ASコースの43人が物理、化学、生物、地学、数学のテーマに分かれて課題研究を始めました。グループによっては中3の3月頃から先生に相談してアドバイスをいただくなどしてテーマ決めをしてきました。テーマ設定はこれからの私たちの研究の全てです。だから、研究を進める過程はどのようになるのか、おもしろい研究になるのだろうか、約2年間という期間で何が出来るのだろうか…ということを考慮する必要があり、身近な現象に注目して先行研究を調べました。これからはこのテーマにそって仮説を設定し、実験や考察を通して検証していきます。途中で諦めず、粘り強く取り組みます。

## 編集後記

今回は、ASコースの活動内容の紹介が中心になりましたが、GSコースも課題研究を行います。現在、韓国などの海外の生徒との共同研究なども計画されています。研究を進めて、校内・校外で発表する機会もあります。時間を追いかけて、学びを充実させたいです。

(担当: II年3組AS委員)